

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 實用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報 (U)

昭59—166286 ✓

⑫ Int. Cl.³
G 09 F 19/22

識別記号

府内整理番号
6731—5C

⑬ 公開 昭和59年(1984)11月7日

審査請求 有

(全 頁)

⑭ 電飾マット

⑮ 実 願 昭58—61270

番18号昌栄実業株式会社内

⑯ 出 願 昭58(1983)4月22日

昌栄実業株式会社

⑰ 考 案 者 松田起慶
神戸市長田区西尻池町1丁目2

神戸市長田区西尻池町1丁目2

番18号

⑱ 代 理 人 弁理士 南野万寿夫

明細書

1. 考案の名称

電飾マット

2. 実用新案登録請求の範囲

(1) 中芯部を中空とし断面略倒れD字形に筒状に成形した基板1上の適宜の位置に電飾孔2、2・・・を穿設し、電飾孔2中に脚4を有する電飾蓋3を各々嵌入被蓋し、前記各電飾孔2の下側位置の基板1内に脚部を植設した電気発光体5・・・を設け、基板1の一端面に接続突起6、6を突出して設け、他の一端面側に前記接続突起6、6と同一間隔を有して接続突起嵌入孔7、7を建設し、各電気発光体5、5・・・をコード8にて結線し、コード8の両端部を接続突起6、6及び接続突起嵌入孔7、7中に配線し、接続電飾することを特徴とする電飾マット。

(2) 電気発光体5が発光ダイオードである実用新案登録請求の範囲第一項記載の電飾マット。

(1)

(3) 電飾蓋3が合成樹脂材の成形蓋である実用新案登録請求の範囲第一項記載の電飾マット。

3. 考案の詳細を説明

本考案は電飾マットに関する。近来、宣伝効果、豪華な店内外のムード作りを演出するための電飾マット類が多数開発されてきているが、本考案は主として接続が簡単に行なえて、所望の長距離区間に於て種々の長さ、方向に電気発光体を並列電飾せしめることの可能な電飾マットを提供する目的で考案されたものである。

以下実施の一例を示す図面に就いて説明すると1は中芯部を中空とし断面略倒れD字形に筒状に成形した基板である。2、2、2…は基板1上の適宜の位置に穿孔した電飾孔である。3、3…は電飾孔2中に被蓋した電飾蓋である。4、4は電飾蓋3の下面に下向きに突出して設けた脚である。5、5…は各電飾孔2の下側位置の基板1内に脚部を植設した電気発光体である。6、6は基板1の一端面に突出して設けた接続突起である。7、7は基板1の他の

一端面側に前記接続突起 6、6 と同一間隙を有して埋設した接続突起嵌入孔である。8は各電気発光体 5、5・に結線し、両端部は接続突起 6 と接続突起嵌入孔 7 中に各々配線したコードである。9は適宜電気発光体 5 の側面及び下面に添接した電気発光体 5、5・の添金具である。

本考案は斯かる構成なる故に基板 1 は合成樹脂材或いはゴム材で成形し、電気発光体 5 は発光ダイオードを利用し、電飾蓋は透明或いは半透明に着色した合成樹脂材で構成することが望ましい。斯かる材質のものを利用し本考案を実施し、例えば映画館、喫茶店等の屋内通路に沿つて本考案品の接続突起嵌入孔 7、7 中に接続突起 6、6 を嵌入して次々と接続し並べて通電すると、通路に沿つて電気発光体 5 が点灯し、電飾蓋 3 を介して美しく輝き、公知の点滅装置（図示せず）等を利用して通電するとイルミネーション効果とも相俟つてその電飾効果は一段と高まり、基板 1 を直線形のものばかりでなく

第3図に示す如く曲折した形のものと併用すると長さのみならず種々の方向にも簡単に延長接続出来、店内の豪華な雰囲気が演出可能で宣伝効果も抜群であり、又、非常口等への誘導効果等も期待出来る考案である。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の縦断した斜視図である。

第2図は平面図である。

第3図は他の実施態様の一例を示す図である。

1 ···· 基 板

2 ···· 電 飾 孔

3 ···· 電 飾 蓋

4 ···· 脚

5 ···· 電 気 発 光 体

6 ···· 接 続 突 起

7 ···· 接 続 突 起 嵌 入 孔

8 ···· コ 一 ド

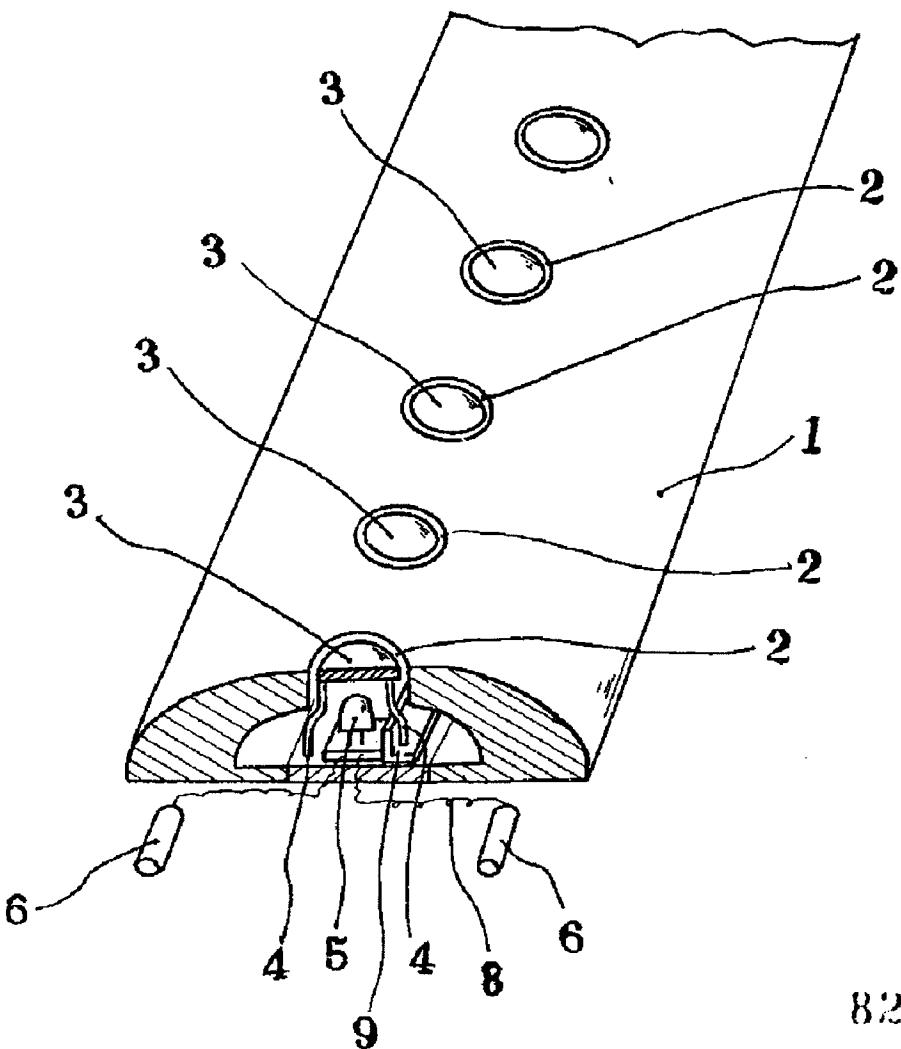
9 ···· 添 金 具

実用新案登録出願人 利 川 義 夫

代 理 人 南 野 萬 壽 夫



第 1 図

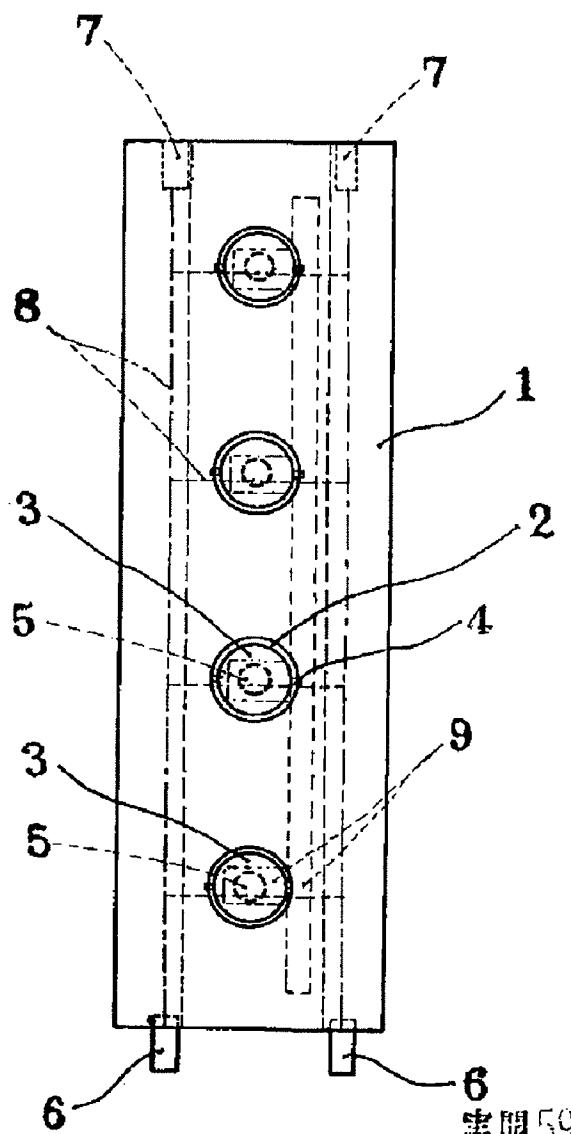


実開59-166286

出願人 利川義夫
代理人 南野萬壽夫



第 2 図



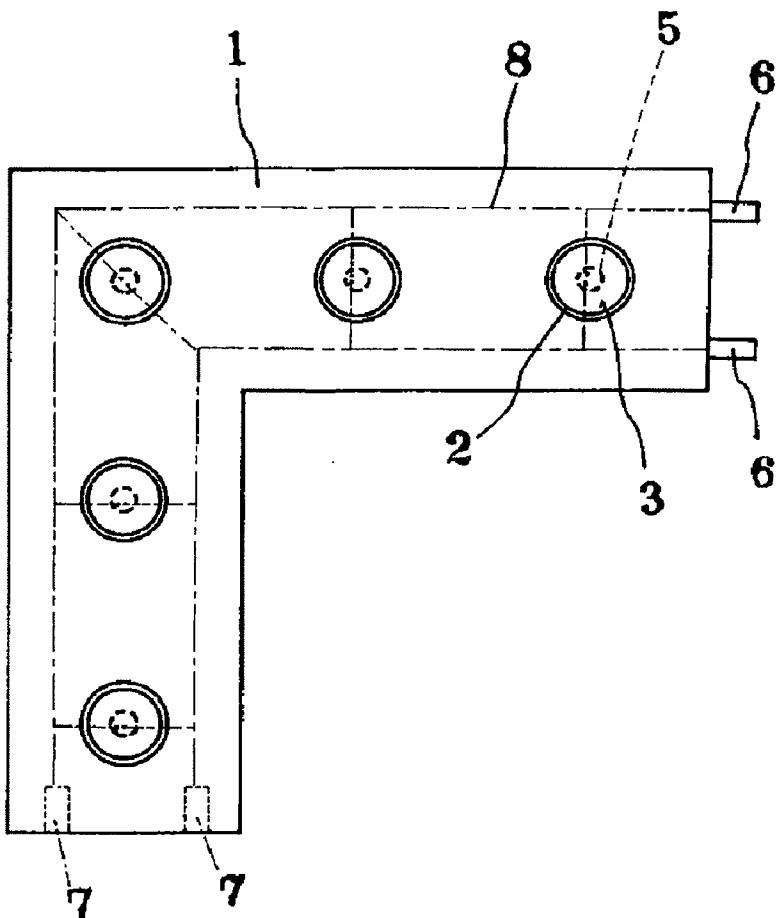
824

6 実開59-166286

出願人 利川 義夫
代理人 南野 萬壽夫



第3図



出願人 利川義夫

代理人 南野萬壽夫

825

実開59-166286